

区民意見公募手続（パブリックコメント）意見及び回答整理表

1 意見の募集期間

令和7年12月5日(金)から令和8年1月5日(月)まで

2 意見の提出者数(件数)

(1)意見者数 5名(内訳:電子申請5名) (2)意見数 16件
 (3)ホームページ閲覧数 1,174回 (4)Xエンゲージメント数(いいね、リポスト、詳細クリック数等の合計) 183回

3 提出された意見要旨(抜粋)と区の考え方(案)

ご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約または一部を抽出しています。

No.	章	分類	意見要旨	区の考え方	関係所管
1	1	自然的環境について	<p>短期間でまとめられた計画素案だが、大田区の歴史的環境・景観から現在までの変化や現状把握などかなり整理されており内容の深さに驚いた。ただ、「六郷用水」に関する記述が少ないように感じる。【1-1.自然的環境(4)水系 ①河川】において、丸子川は、江戸期に構造物として造成された六郷用水の残り一部であること、現在の丸子川は歴史的には自然河川でないことを明記すべきである。また、【1-3.歴史的環境(1)歴史 ④近世(安土桃山時代(戦国時代)、江戸時代)】において、六郷用水の事業背景やこの地域での重要性、規模、効果などを記載すべきである。</p>	<p>丸子川が古くは六郷用水と呼ばれていたこと、六郷用水の水路は、多摩川の流れを現在の狛江市和泉地先で堰止め、ここから取水した水を水源とし、谷沢川などの周辺河川等の流れを合わせて、六郷領 35 ヶ村(大田区)世田谷領 14 ヶ村(世田谷区、狛江市)を灌漑していたことを追記いたします。また、1-3.歴史的環境(1)④に、六郷用水の事業背景等の概要を追記いたします。</p>	都市基盤管理課
2	1	大田区に関わりのある人物について	<p>1-3.(2)大田区に関わりのある人物 六郷用水に関わった小泉次太夫吉次、田中休愚を紹介すべきである。</p>	<p>【1-3.歴史的環境 (2)大田区に関わりのある人物】に区と関わりがある人物をすべて記載することは難しいため、国の策定マニュアルに基づき、「区の歴史と関わりがある人物のうち、本計画の第2章に関連するものの書ききれない人物」を取り上げて掲載しております。小泉次太夫吉次、田中休愚は区の歴史と関わりがあるものの、第2章と直接のつながりがないため、掲載は見送らせていただいております。ただし、今後本計画の見直し・更新を行う中で、六郷用水に関連する歴史的風致が追加された場合は、参考とさせていただきます。</p>	都市計画課
3	6	事業について	<p>丸子川、六郷用水復元水路、洗足流れなどの水辺空間の維持管理を強化していただきたい。</p>	<p>第6章には、第4章で定める重点区域内で実施する事業のうち、第2章に記載のある歴史的風致の維持向上と関連があり、かつ本計画の期間中に確実に実施される事業のみ記載が可能となっております。これは国の策定マニュアルにより、定められております。そのため、本計画の事業には記載しておりませんが、丸子川、六郷用水復元水路、洗足流れにおいては、落葉清掃、排水ポンプ点検、河床の清掃を適宜行っております。今後も、継続的に水辺空間の維持管理に努めてまいります。</p>	地域基盤整備第三課
4	2、6	事業について	<p>西郷隆盛率いる新政府軍が池上本門寺に陣取ったこと、勝海舟が中原街道を使い途中で洗足池に立ち寄り、池上本門寺内の松濤園で「無血開城」の交渉を実施したことなどの史実を軸に、中原街道・洗足池・呑川・池上本門寺・理境院・松濤園を組み合わせた歴史散策モデルコースを検討してほしい。また、普段は松濤園の一部として開放・運用し、区内外の人が自由に散策できるようにしてほしい。さらに、池上本門寺には幕末志士・河上彦斎のお墓があり、幕末・明治維新のストーリーも組み込むことができる。現状、案内板等の説明が不十分であるため、パネルの設置やコースのマップ配布、WEBでの紹介を検討してほしい。</p>	<p>区における幕末・明治維新の歴史をたどる散策コースの設定や案内板の設置について、現時点では具体的な事業予定はございませんが、本計画の策定を契機として、区内に残る歴史・文化資源に関する情報発信や活用方法については、今後の検討課題のひとつとして参考にさせていただきます。なお、松濤園は区が所有・管理している施設ではなく、一般公開の可否については所有者の方のご意向や維持管理・安全面等の課題から、区として日常的な公開を行うことは難しい状況です。いただいたご意見については、大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会委員へ共有させていただき、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>	文化芸術推進課(郷土博物館)

5	6	事業について	歴史的道標として、光明寺道標(千鳥3-11)の保護・顕彰を希望する。現在は歯科医院の入り口前という、視認性や安全性の面で課題のある場所に設置されており、道標の存在や意味が十分に伝わっていない。文化資源として、よりふさわしい場所への移設や、案内板の設置などを検討してほしい。	光明寺の道標は、貴重な歴史・文化資源であるものの、区が所有・管理している建造物ではないため、移設や解説板の設置等を含む具体的な対応については、本計画の事業として位置付けることは難しい状況です。いただいたご意見については、大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会委員へ共有させていただき、今後の施策検討の参考とさせていただきます。	都市計画課
6	2	歴史的風致について	糀谷地域における先住民であり、海苔漁業に多大な貢献をされた松原家の記憶を、歴史的風致の構成要素として位置づけていただきたい。松原家は、海苔漁業とともに生きた地域の暮らしと生業の象徴であり、糀谷の風景や文化を語るうえで欠かせない存在である。現時点では計画に掲載されていないが、地域の語りや記憶の中で今も息づいており、今後の計画においても記録・継承の視点から検討してほしい。	第2章に記載のある「歴史的風致」に位置付けるには、①歴史と伝統を反映した活動が50年以上前から現在まで継続していること、②①の活動が行われる歴史上価値の高い築50年以上の建造物があること、の2つが要件となります。松原家を中心とした海苔漁業に関連する活動が確認できていないため、現時点で計画へ記載することは困難な状況です。松原家に関する歴史と伝統を反映した活動について、本計画の策定後も継続して調査を行い、歴史的風致への追加を検討してまいります。	都市計画課
7	1	歴史・文化資源について	「我国最初のエレベーター専門工場誕生の地」の石碑は、昭和61年5月に日本オーチスエレベーター株式会社によって設置されたものであり、我が国の近代産業史において重要な意義を持つ。現時点では計画に掲載されていないが、地域の産業風致を語る上で欠かせない場所であり、今後の記録・紹介・連携の可能性を検討してほしい。	当該石碑は、地域の産業史において重要な意義を持つことから、第1章の「1-5.未指定文化財及びその他の歴史文化資源一覧表」へ掲載いたします。	都市計画課
8	1	歴史・文化資源について	世田谷区にある玉川温室村に関する史跡について、現地では「壁の一部」と化しており、歴史的意義や地域の記憶が十分に伝わっていない。玉川温室村は、戦前の都市農業や園芸文化、地域の復興と暮らしの知恵を象徴する重要な歴史・文化資源であり、大田区側からもその価値を再評価し、記録・発信・案内の整備などを検討してほしい。また、隣接する自治体との連携による広域的な風致の継承のあり方についても、今後の計画において視野に入れていただきたい。	本計画へ記載する歴史・文化資源は、原則として大田区内に存在するものとしています。隣接する自治体と連携した歴史・文化資源の継承や情報発信については、今後検討してまいります。	都市計画課
9	6	事業について	各史跡またその史跡の案内板の中には、柱の傾いたもの、汚れの付いたもの、文字がかすれて見えなくなったもの等があるため、管理や定期的な修繕を行ってほしい。	行政が設置した所定の文化財標識のうち、一部において劣化が見られることは認識しております。文化財標識は、貴重な文化財の価値を正しく伝え、後世に継承していく上で重要な役割を担うものと考えております。今後も定期的な点検を行い、修繕が必要なものについては優先順位を付けながら計画的に対応してまいります。	文化芸術推進課(郷土博物館)、大田図書館(文化財担当)
10	2	歴史的風致について	現在の計画では池上本門寺周辺が中心となっているが、風致の記憶は区内各地に点在しており、今後の展開において“周縁の風致”にも目を向けていただきたい。	現時点では、①歴史と伝統を反映した活動が50年以上前から現在まで継続していること、②①の活動が行われる歴史上価値の高い築50年以上の建造物(石碑等も含む)があること、の2つの要件を満たす7つを歴史的風致として設定しておりますが、その他の歴史上価値の高い建造物及び歴史・伝統を反映した人々の活動についても継続的に調査を行い、歴史的風致への追加を検討してまいります。	都市計画課
11	2	歴史的風致について	歴史的風致に、久が原・下丸子地区も加えてほしい。昭和の暮らし博物館、をはじめ国登録有形文化財である鳥海家住宅、三橋家住宅、数江家住宅や、これから拠点になりうる建造物、緑地が点在し、かつて昭和初期より多くの文化人が居を構えていた文化郊外都市・久が原として、区内外、近隣遠方からの来訪や回遊の実感と大きな可能性を感じている。一方で、周辺では企画力のある人材や店も多い稀な地域であるにも関わらず公としては未整備で、個々の努力の限界を感じている。近年、池上のまちづくりが盛り上がり、下丸子駅周辺でも都市計画が進行しつつあり、これとつながる形で、歴史的風致とすれば、相乗効果で、住民、来訪者共に充実した他の区にはないまちづくりが可能だと確信している。	歴史的風致に位置付けるには、①歴史と伝統を反映した活動が50年以上前から現在まで継続していること、②①の活動が行われる歴史上価値の高い築50年以上の建造物(石碑等も含む)があること、の2つの要件を満たす必要があります。久が原・下丸子地区には、国登録有形文化財に指定されている建造物が複数あるものの、それらに関連した50年以上継続している活動を確認できていないため、現時点では歴史的風致に位置付けることが難しい状況です。久が原・下丸子地区における歴史と伝統を反映した活動について、本計画の策定後も継続して調査を行い、歴史的風致への追加を検討してまいります。	都市計画課

12	0~8	計画全般について	大田区の歴史・文化について、まちづくり分野の計画で、これだけハードからソフトにまたがる総合的な記述ができているのは素晴らしい。一方で、この計画に掲載されることで、どのような制度を活用でき、どのような事業が展開されるのか、長文の計画ゆえに難解な印象を受ける。区民に伝わりやすい記述の工夫を求める。	本計画の要点や位置付けられた事業のイメージ等がより分かりやすくお伝えできるよう、概要版の見直し・更新を行ってまいります。	都市計画課
13	2、6	歴史的風致について	「日本考古学発祥の地」としての価値・ブランドをもつ大森貝塚について、多くの記述を当て、また、重点区域の設定も行うとのことで、東京都大森貝塚保存会で活動してきた一員として感謝する。2027(令和9)年の大森貝塚発見発掘150周年に向け、少しでも事業を進めていただきたい。	令和9年(2027)の大森貝塚発見・発掘150周年に向けて、東京都大森貝塚保存会をはじめ地域の皆様とともに、この貴重な文化遺産の価値を広く発信し、次世代に継承するための取り組みを進めてまいります。	文化芸術推進課(郷土博物館)
14	2	歴史的風致について	大森貝塚とモース博士を縁として、大田区立郷土博物館とピーボディー・エセックス博物館が姉妹館となり、その礎の上に大田区と米国マサチューセッツ州セーラム市が姉妹都市となり、35年にわたり区民・市民、また、学生が互いに訪問を続ける友好親善の交流を重ねてきたことにも言及する価値があると思う。これほどの友情を結んでいる姉妹都市関係は全国的にも稀少と考える。	大田区とセーラム市の姉妹都市関係は、大森貝塚の発掘者であるモース博士を縁として、大田区立郷土博物館とピーボディー博物館(現ピーボディー・エセックス博物館)の姉妹館提携から発展した特徴的な経緯を持っています。平成3年の姉妹都市提携以来、相互理解を促進し国際的視野を広げることを目的として、両都市への派遣・受入を実施し、学生間及び区民・市民間の親善友好や文化交流を深めています。区といたしましては、本計画において両都市の関係性の経緯や特徴をコラムに掲載する予定です。	地域力推進課(区民協働・多文化共生担当)
15	6	事業について	馬込文士村について、ARの活用やサイン整備などの事業が含まれており、宇野千代をモデルとする連続テレビ小説『ブラッサム』の放送を好機に、いつ来ても自分で散策できる環境を整え、回遊性を大きく前進させることに期待する。	今秋の連続テレビ小説『ブラッサム』の放送を契機として、AR技術の活用やサイン整備などにより、歴史をめぐる楽しさを高める整備を実施し、地域の活力向上やシビックプライドの醸成、区の認知度向上を図ってまいります。	文化芸術推進課(郷土博物館)、産業振興課(観光担当、観光協会)、都市基盤管理課
16	6	事業について	馬込文士村を現在に生かす取組として、大田文化の森で開催されている馬込文士村演劇祭のことも記述に加えてはいかがか。今年度も、演劇公演、ガイドツアー、ブックフェア、トークイベント、記念館講座など、馬込文士村をテーマとしたイベントとして、重要な役割を果たしていたと思う。	馬込文士村演劇祭は、大田区と公益財団法人大田区文化振興協会が共催で実施しており、地域と連携した重要な取組であると認識しています。本事業の継続的な実施についても、外部団体との連携を図りながら検討してまいります。	文化芸術推進課(郷土博物館)